

事業者名:株式会社中尾水産

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

株式会社中尾水産は、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向け、水産物加工販売事業を通じて、地産地消や食品ロスの削減などの取り組みにより、地域社会の活性化と、環境と調和した持続可能な社会の実現に寄与する。さらに、ふるさとへの誇り、人のつながりを大切にしたい自然と夢にあふれる街、「しあわせ 優都 あらお」の発展への貢を目指します。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に◎)	SDGsに関する重点的な取組み	指標
◎環境 ◎社会 ◎経済	食品ロスの削減 ➡売る側として、曜日や天候等を勘案して、仕入れ量・販売量を判断している。またスピードイヤーに惣菜化することで賞味期限を延長させ、食品ロスの削減を実施する。	「食品ロスの削減」 2020年比 10%削減(1年以内) ➡3年後には食品ロスゼロを目指す。
◎環境 ◎社会 ◎経済	地産地消、地元の食材を選定する ➡地元有明海をはじめ九州近海産の魚介類を仕入れ販売することにより、自動車や飛行機などの輸送にかかる二酸化炭素排出量を削減する。 さらに、地元の漁業従事者と共存し、地産地消への取り組みにより、海洋や大陸の資源保護につなげる。	地産地消・地元原料の選定 ・2020年：約50%（自社比） ・2023年：約80%（自社比）
◎環境 ◎社会 ◎経済	補助金や助成金（国、県、市）の積極的な申請、活用への取り組み ➡弊社は経済産業省（日本商工会議所）の小規模事業者持続化補助金に二回採択された実績がある。その他、新型コロナウイルス感染症関連の補助・助成金による支援を受けており、国、県、市とのパートナーシップを今後も実施する。	申請、活用への取り組み ➡地元商工会と連携し、自社経営体力強化に向けた補助・助成制度の活用を引き続き実施する。

<パートナーシップ>

地元荒尾商工会議所との情報の共有をはじめとした、地域発展のための研修活動への積極的参加や国、県、市の助成・補助事業への取り組みを介したパートナーシップを今後も具現化していく。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。

○ SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係る進捗状況(※更新の場合のみ。)

○登録状況:第 期登録(登録年月日: 年 月 日)

○登録番号： 号

<SDGs に関する重点的な取組み状況、前期の指標及び実績>

三側面 (分野に◎)	取組みの状況	前期の指標	実績
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			

- ・「登録状況」及び「登録番号」を記載してください。
- ・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。